

「M情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の憲法行為を否定する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO, DESK FIGHTING REPORT

関西の
情報デスク

No. 125
 【発行・編集】
 MASUKI情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

私たちは、ブータン王国国王 ジグミ・ケサル・ナムギャル・ワンチュク陛下の気高くも謙虚、知性と品格あるお言葉に耳を傾け、陛下からいただいた勇気と激励に感謝し、自信をもって精進しよう。忘れてはならない。我が国はアジアのリーダー、世界のリーダーなのだ。

以下は国会における、同時通訳による陛下のスピーチ全文です。(11月17日) 天皇皇后両陛下、日本国民と皆さまに深い敬意を表しますとともにこのたび日本国会で演説する機会を賜りましたことを謹んでお受けします。衆議院議長閣下、参議院議長閣下、内閣総理大臣閣下、国会議員の皆様、ご列席の皆様。世界史においてかくも傑出し、重要性を持つ機関である日本国会のなかで、私は偉大なる叡智、経験および功績を持つ皆様の前に、ひとりの若者として立っております。皆様のお役に立てるようなことを私の口から多くを申し上げられるとは思いません。それどころか、この歴史的瞬間から多くを得ようとしているのは私のほうです。このことに對し、感謝いたします。

妻ツェチエンと私は、結婚のわずか1ヶ月後に日本にお招きいただき、ご厚情を賜りましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。これは両国間の長年の友情を支える皆さまの、寛大な精神の表れであり、特別のおもてなしであると認識しております。

ご列席の皆様、演説を進める前に先代の国王ジグミ・シンゲ・ワンチュク陛下およびブータン政府およびブータン国民からの皆様への祈りと祝福の言葉をお伝えしなければなりません。ブータン国民は常に日本に強い愛着の心を持ち、何十年ものあいだ偉大な日本の成功を心情的に分かちあつてまいりました。3月の壊滅的な地震と津波のあと、ブータンの至るところで大勢のブータン人が寺院や僧院を訪れ、日本国民になぐさめと支えを与えようと、供養のため

日本は今 何かを振り返り 何かを律する時期にきている

の灯明を捧げつつささやかながらも心のこもった勤めを行うのを目にし、私は深く心を動かされました。私自身は押し寄せる津波のニュースをなすすべもなく見つめていたことをおぼえております。その時からずっと、私は愛する人々を失くした家族の痛みと苦しみ、生活基盤を失った人々、人生が完全に変わってしまった若者たち、そして大災害から復興しなければならぬ。日本国民に対する私の深い同情を、直接お伝



ジグメ・ケサル・ナムゲル・ワンチュクブータン国王とジェツン・ペマ王妃

えでる日を待ち望んでまいりました。いかなる国の国民も決してこのような苦難を経験すべきではありません。しかし仮にこのような不幸からより強く、より大きく立ち上る国があるとすれば、それは日本と日本国民であります。私はそう確信しています。

皆様が生活を再建し復興に向け歩まれるなかで、我々ブータン人は皆様とともにあります。我々の物質的支援はつましいものですが、我々の友情、連帯、思いやりは心からの真実味のあるものです。ご列席の皆様、我々ブータンに暮らす者は常に日本国民を親愛なる兄弟・姉妹であると考えてまいりました。両国民を結びつけるものは家族、誠実さ。そして名誉を守り個人の欲望よりも地域社会や国家の望みを優先し、また自己よりも公益を高く位置づける強い気持ちなどであります。

2011年は両国の国交樹立20周年にあたる特別な年であります。しかしブータン国民は常に、公式な関係を超えた特別な愛着を日本に対してまいりました。私は若き父とその世代の者が何十年も前から、日本がアジアを近代化に導くのを誇らしく見ていたのを知っています。すなわち日本は当時開発途上地域であったアジアに自信とその進むべき道への自覚をもたらし、以降日本のおかげで世界経済の最先端に躍り出た数多くの国々に希望を与えてきました。日本は過去にも、そして現代もリーダーであり続けます。

このグローバル化した世界において、日本は技術と確信の力、勤勉さと責任、強固な伝統的価値における模範であり、これまで以上にリーダーにふさわしいのです。世界は常に日本のことを大変な名

誉と誇り、そして規律を重んじる国民、歴史に裏打ちされた誇り高き伝統を持つ国民、不屈の精神、断固たる決意、そして秀でることへ願望を持って何事にも取り組む国民。知行合一、兄弟愛や友人との揺るぎない強さと気丈さを併せ持つ国民であると認識してまいりました。これは神話ではなく現実であると謹んで申しあげたいと思います。それは近年の不幸な経済不況や、3月の自然災害への皆様の対応にも示されています。

皆様、日本および日本国民は素晴らしい資質を示されました。他の国であれば国家を打ち砕き、無秩序、大混乱、そして悲嘆をもたらしたのであろう事態に、日本国民の皆様は最悪の状況下でさえ静かな尊厳、自信、規律、心の強さを持つて対処されました。文化、伝統および価値にしっかりと根付いたこのような卓越した資質の組み合わせは、我々の現代の世界で他に見出すことはほぼ不可能です。すべての国がそうありたいと切望しますが、これは日本人特有の特性であり、不可分の要素です。このような価値観や資質は、昨日生まれたものではなく、何世紀もの歴史から生まれてきたものなのです。それは数年数十年で失われることはありません。そうした力を備えた日本には、非常に素晴らしい未来が待っていることでしょう。この力により日本は歴史を通じてあらゆる逆境から繰り返し立ち直り、世界で最も成功した国のひとつとして地位を築いてきました。さらに注目に値すべきは、日本がためらうことなく世界中の人々と自国の成功を常に分かち合ってきたということです。

ご列席の皆様。私はすべてのブータン人に代わり、心からいまお話をしています。私は専門家でも学者でもなく日本に

深い親愛の情を抱くごく普通の人間に過ぎません。その私が申しあげたいのは、世界は日本から大きな恩恵を受けるであろうということです。卓越性や技術革新がなんたるかを体現する日本。偉大な決断と業績を成し遂げつつも、静かな尊厳と謙虚さとを兼ね備えた日本国民。そして、他の国々の模範となるこの国から、世界は大きな恩恵を受けるであろうと。日本がアジアと世界を導き、また世界情勢における日本の存在が、日本国民の偉大な業績と歴史を反映するにつけ、ブータンは皆様の支援し支持してまいります。ブータンは国連安全保障理事会の議席拡大の必要性だけでなく、日本がそのなかで主導的な役割を果たさなければならぬと確認しております。日本はブータンの全面的な約束と支持を得ております。

ご列席の皆様、ブータンは人口約70万人の小さなヒマラヤの国です。国の魅力的な外形的特徴と、豊かで人の心をとらえて離さない歴史が、ブータン人の人格や性質を形作っています。ブータンは美しい国であり、面積が小さいながらも国土全体に広がるさまざまな異なる地形に数々の寺院、僧院、城砦が点在し、何世代ものブータン人の精神性を反映しています。手付かずの自然が残されており、我々の文化と伝統は今も強靱に活力を保っています。ブータン人は何世紀も続けてきたように人々のあいだに深い調和の精神を生む質素で謙虚な生活を続けています。

今日のめまぐるしく変化する世界において、国民が何よりも調和を重んじる社会、若者が優れた才能、勇気や品位を持ち先祖の価値観によって導かれる社会。そうしたい思いやりのある社会で生きてい

る我々のあり方を、私は最も誇りに思っています。我が国は有能な若きブータン人の手のなかに委ねられています。我々は歴史ある価値観を持つ若いそして、若々しい現代的な国民です。小さな美しい国ではありませんが、強い国でもあります。それゆえブータンの成長と開発における日本の役割は大変特別なものです。我々が独自の願望を満たすべく努力するなかで、日本からは貴重な援助や支援だけでなく、力強い励ましもいただいています。日本国民の寛大さ、両国民のあいだを結ぶより次元の高い大きな自然の絆。言葉には言い表せない非常に深い精神的な絆によってブータンは常に日本の友人であり続けます。日本はかねてよりブータンの最も重大な開発パートナーのひとつです。それゆえ、日本政府、およびブータンで暮らし、我々とともに働いてきてくれた日本人の方々の、ブータン国民へのゆるぎない支援と善意に対し、感謝の意を伝えることができて大変嬉しく思います。私はここに、両国民のあいだの絆をより強め深めるために不断の努力を行うことを誓います。

改めてここで、ブータン国民から日本国民の皆様への祈りと祝福を改めてお伝え致します。ご列席の皆様、私簡単ではありますが、ソルカ語、私どもの国の言葉でお話したいと思えます。

ソルカ語の祈り

ご列席の皆様。いま私は祈りを捧げました。小さな祈りですけれど、日本そして日本国民が常に平和と安定、ハーモニー調和を経験し、そしてこれからも繁栄を享受されますようにという祈りです。ありがとうございます。

大東亜戦争は開戦前から始まっていた

東京都議会議員 土屋敬之

今日のシッチャー 2011.12.03 よん

間もなく12月8日。大東亜戦争開戦記念日がやってくる。8月15日は、マスコミが盛んに反日的な報道をするが、開戦記念日は全くと言っていいくらい報道しない。

だから、日本が戦争に負けたことは知っているが、アメリカと戦争したこと、何故戦争をしなければならなかったかについては、大学生すらまともに答えられない。それが日本だ。

アメリカは、昭和16年、国務省政治問題担当顧問ホーンバックが国務長官のコーデル・ハルに、

「アメリカ国民は今や思い切った行動を歓迎している。」として日米通商航海条約の破棄通告を提案している。

昭和16年に策定された新オレンジ計画では、明確に対日圧迫戦略依存していた石油に置かれていた翌昭和17年12月には日本に対して航空機用のガソリンを禁輸するモラル・エンパワメントが発動された。

更に昭和17年8月には、より低品質のハイオクタン航空ガソリン、6月にはくず鉄の対日全面禁輸、12月には鉄鉱や一定の鉄鉱製品の前面禁輸、昭和17年1月には銅、亜鉛、ニッケル、12月にはラジウム、ウラン235の禁輸に踏み切るなど対日禁輸を真綿で首を締めるようにじわじわと進めたのである。

スチムソン陸軍長官は、「日本を脅かす唯一の道は、日本に何も与えないことである」と言っている。

従って、アメリカとの戦争は、昭和17年開戦の以前に始まっていたと言ってよい。

戦後、特に近頃「無謀な戦争に突入して」とか言う評論があるが、それはあくまでも評論で、では、当時の八方塞がりの日本がどこに活路を見出したらいいのかという回答はどこを探してもないのだ。

これに追い打ちをかけたのが、例のハルノートだ。日本を中国から追い出して、中国の独立を支援しようと言う内容ではない。中国の利権を欧米列強が独占しようと言う内容だ。

彼らは、アフリカ、アジアを植民地にして、それでも足りないとして中国にアヘンまで持ち込んで亡国とした。

あるテレビ番組で、侵略されたら「話し合い」をして、「こちそうをして」「みんなでダンスを踊れば」平和になるとの紹介があったが、じゃあ、それをイラクやアフガンでやってみたらいい。

国際政治はそんな生半可なものではないのだ。当時も同じ。欧米列強と違うのは、わが国は満州国を建国。帝国大学までつくり、インフラの整備まで行っている。

傀儡だと言う批判はあるが、植民地からすべてを強奪する政策とは雲泥の差だ。だからこの戦争。仕掛けられた戦争なのだ。

当時の状況として、ここまで仕掛けられたのなら開戦に踏み切らざるを得ない。

後で、マッカーサーが言っているように、「自衛のための戦争」だ。この間の経過を、教育の場で、きちんと生徒に教えるべきではないか。原爆の碑を見に行つて「ああ、ぼくたちの先祖は悪いことをした」などと教え込むことは、歴史の真実を捻じ曲げる以外の何物でもない。

大東亜共栄圏の理想をかかげ、八紘一宇の精神で、戦争を戦った。敗れた後も、現地の残り、多くの兵士が独立のために戦った。例えば映画にもなったインドネシアの独立を描いた『ムルデカ』。そんな例が世界にあるだろうか。

私は本来、本土決戦を行うべきだったと思っている。それでは数百万の同胞が犠牲になると反論されるかもしれないが、例えばベルリン攻防戦のような悲惨な殺戮を知つてこそ、連合軍の本質が理解出来るのではないか。それを敗戦を終戦と言い換え、

占領軍を進駐軍と言い換えた。昨日まで、鬼畜米英と言つてた者が、マッカーサーに感謝の手紙を書いた。真実を見ていないからこうなるのだ。

ここに戦後日本の「甘さ」がある。アメリカは、「Dで、第二の経済戦争を仕掛けてこようとしている。きちんとしたけじめをつけよう」としないから、それに気がつかないのだ。

アメリカはいい国だと思っている。冗談ではない。沖縄戦で、住民がいることを分かっているのに防空壕に火炎放射器を向けた。日本兵を寝かせて、戦車でひき殺し、ニューズウィークの表紙には、日本兵の頭蓋骨を笑顔でなでている美人の写真がある。

親米は止めるべきだ。つまり、ヤルタポツダム体制から脱却して、主権を確立しなければいけない。日本は独立国なのだから。

真珠湾大勝七十周年記念祝賀会

皇紀二十七世紀初頭を飾った世界的快挙、壮挙は、我皇軍に依る真珠湾での赫赫たる大戦果でありました。欧米列強に拠る所謂「帝国主義」に因つて抑圧支配されていた非欧米諸民族は、欧米の植民地支配に苦しみ、その圧制からの解放を望んで居りました。

希望の星は、独り栄光の独立を保つ我「大日本帝国」でありましたが、鬼畜米英は、その我国に対しても二次大戦に引き込むべく、経済封鎖、石油禁輸等々の侵略的態度を強めて来たのであります。

我国は、欺かる実質的侵略に対して隠忍自重をかさねましたが、米国の実質的対日宣戦布告である「ハル・ノート」を受けて、瞭然、として国家自衛、民族独立維持の為の戦いに突入したのであります。

我国の対米英戦争は、我国の自存自衛のみならず、非欧米植民地解放、独立の為の「聖戦」「義戦」でありました。

その緒戦に獲得した真珠湾での圧倒的な大勝利は、世界史に記念すべき金字塔であります。非欧米被抑圧諸民族の解放記念日であります。

世界何れの独立国も戦勝記念日を祝わない国は有りません。本年、左記要領にでささやかな祝賀会を催しますのでご参加下さい。

(日時) 皇紀二千六百七十一年

師走四日(日)午後七時開始

(会場) 大阪府教育会館カベラの間

近鉄上六駅東北へ徒歩三分

(費用) 不要

呼掛人 中山嶺雄

慰安の根元は自民党と河野談話だ！

「小韓国」の慰安婦強制連行でつち上げを許すな

主権回復を目指す会 西村修平
<http://nipponism.net/wordpress/?p=5676>

《諸悪の根元は自民党による「河野談話」だ》

韓国外交通商省は9月15日、在韓日本大使館の総括公使を呼び、日本統治時代の慰安婦の賠償請求権を確認するための協議を日本政府に申し入れている。玄葉光一郎外相は24日、韓国の金星煥外交通商相とニューヨーク市内で会談した。その際、金は、日本の植民地時代の慰安婦問題の賠償請求権問題に関する協議を求めた。しかし、玄葉外相は「請求権問題は解決済み」として協議を毅然としてはねつけた。

続いてニューヨークで開催中の国連総会の人権担当委員会で11日、韓国の辛東益(シン・ドンイク)・国連次席大使は演説で、日本を名指ししなかったものの、「武力紛争での女性に対する性的暴力の増加を深く憂慮する」と述べ、被害者には「慰安婦を含む」と明言。「組織的なレイプや性的搾取は戦争犯罪であり、人道に対する罪」にあたると指摘し、国連機関と加盟国に(1)効果的な被害者救済措置(2)賠償金の支払い(3)加害者の処罰に向けて、最大限の努力をするよう求めた。

日本側は「法的に解決済み」と反論したものの、児玉和夫・国連次席大使が慰安婦問題について「多くの女性の名誉と

日本政府は認識し、誠実に謝罪してきた」と説明し、賠償については「サンフランシスコ条約や2国間条約で法的に決着済み」と説いた。

玄葉首相も児玉次席大使も、この慰安婦問題を「法律問題」に収束させて事を図ろうとするが、そつせざるを得ない拘束がある。

そもそも慰安婦問題に関して言えば、今でこそ朝鮮側は、慰安婦の「強制連行」は破綻したので口にしなないが、朝日新聞をはじめとした軍による「慰安婦強制連行」の一大キャンペーンに由来する。そうしたなかで平成5年8月4日、政権与党にあった自民党は公明党と一緒にになって、当時の河野洋平官房長官が「慰安婦関係調査結果発表に関する河野内閣官房長官談話」(所謂河野談話)を発表した。談話は日本政府が「いわゆる従軍慰安婦として数多くの苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われたすべての方々に對し心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる」として自ら歴史ねつ造をでっち上げる内容だった。自・公によるでっち上げは我が国の誇りと名誉を大きく傷付けただけではなく、次代を担う青少年の精神に「自虐」という猛毒を注入し続けたまま今日に至り、我が国に対する強請(ゆす)りと集(たか)りの根拠を朝鮮に提供している。

従軍とは軍属とも言うが、看護婦、新聞記者、僧侶らに与えられた国際法に基づく捕虜の待遇を受ける身分を示す。「河野談話」では、何と！この朝鮮人慰

安婦に対して「軍属」の地位を与えたのである。これをデタラメと言わずして何と言えはいいの。

日本の統治下にあった朝鮮半島では公娼制度があり、その庇護の下で慰安婦たちは日々の生業(なりわい)を営んでいた。その朝鮮人慰安婦らが日本人を相手に春を鬻(ひさ)いだところで、何故に朝鮮人らが我が国に謝罪とそれに伴う補償を要求しなければならぬのか。

朝鮮人よ！いい加減に強請と集りを止めよ。強請りと集りの大韓民国は「小韓国」に変更しろ！

主権回復を目指す会は政経調査会と共に韓国大使館へ「不当な請求権の要求を直ちに止めよ！」との抗議行動を実施、大使宛に抗議文を送った。

抗議文

韓国は不当な請求権の要求を直ちに止めよ！

駐日韓国大使 申秀殿
 平成23年10月7日

主権回復を目指す会 政経調査会

去る9月24日、我が国の玄葉光一郎外相は、貴国の金星煥外交通商相と会談した際、いわゆる「従軍慰安婦」の賠償請求権を巡る要求に対して、「請求権問題は完全かつ最終的に解決済みである。この問題が日韓関係全般に悪影響を及ぼすことがないようにすべきである」と回答し、これを一蹴した。

我々は、我が国政府に、この立場の徹底した堅持を求めると同時に、貴国政府に對し、日韓基本条約の反故につながる不当な請求権の要求を厳に慎むよう、強く抗議・要請する。

昭和40年(1965年)に締結され

た日韓基本条約は歴とした国際条約である。そして、これに付随する『日韓請求権並びに経済協力協定』によって、『日韓間の両国間および国民間の請求権に関する問題は完全かつ最終的に解決されていること』が確認された。

従って、この国際条約を反故にして、解決済みの請求権問題を蒸し返すことは、主権国家、法治国家にあるまじき蛮行であり、断じて許されるものではない。『日韓請求権並びに経済協力協定』では、我が国から貴国に對し、計8億ドル以上に及ぶ資金供与および融資が取り決められ、実行に移された。1ドル1360円の固定相場制の時代であり、当時の貴国の国家予算が約3.5億ドル、我が国の外貨準備額が約18億ドルであったことに照らせば、これがいかに莫大な金額であったか窺い知ることができる。

ところが貴国は、その大部分を本来の目的であった個人への補償には充てず、道路やダム・工場の建設といったインフラの整備、さらには企業への投資に使用する行為に及んだ。貴国は後に「漢江の奇跡」と呼ばれる経済発展を遂げるが、これは「奇跡」でも何でもなく、上記のような国家ぐるみでの「私的流用」を犯したことによる必然の帰結であった。

いわゆる「従軍慰安婦」の「強制連行」なるものは歴史の捏造であり、我が国に補償の責務など微塵も存在しないが、どうしても「慰安婦」を自称する人々への補償を行いたいのであれば、貴国自身が、先に述べた8億ドルおよびその結果としての経済成長によって得た富から捻出し、還元するのが道理というものである。

我日本国民は、貴国政府に宣告する。韓国は、「慰安婦強制連行」という名の

酒井信彦教授の日本ナショナリズム

中共サイバー戦略の脅威

『月刊日本』2021年12月号 羅針盤

朝日新聞では11月7日から四日連続

で、「中国軍解剖」と題する大型記事が掲載した。筆者は中共軍について、かねてより詳しい報道を行い、ボーン上田賞を受賞している、北京駐在の峯村健司記者である。

内容は、7日の「上」が現在我が国盛んにやられているサイバー戦、8日の「中」が宇宙ステーションへの無人宇宙船のドッキングを成功させたばかりの宇宙戦略、9日の「下」が女性を使ったスパイ活動、そして10日は「番外編」として、中共軍の総体に関する基本的な解説である。まことに時宜になった「好企画」と言わざるをえない。なおこれには「第一部」と銘打たれているから、今後も何度が掲載されるようである。

峯村記者の報道の特徴は、なんとと言っても中共軍という対象に良く食い込んでいくことである。ボーン上田賞の受賞もそのあたりが評価されたのであろう。例えばサイバー戦の回では、サイバー戦士を教育する学校を直接取材している。それは山東省済南市郊外にある山東藍翔高級技工学校で、130ヘクタールの敷地があり、3万人の生徒が学んでいる。軍の技術者を養成する全国唯一の民間訓練校で、調理や自動車整備などの教育も行うが、掲載された写真には、5千平方メートルの巨大な教室に2千人のパソコンが並んでいるから、一度わけである。

女性スパイの回では、スパイを経験した女性と、スパイを強要された女優を、直接取材している。農村出身の女性は十七歳でスパイになり二年間働いたが、その間例のハニートラップなどの活動を行った。写真も掲載されている女優は、ツイッターで自己の体験を暴露し、外国メディアの取材に応じるとあったので、峯村記者が対面して、三時間に渡って取材したが、その後連絡が取れなくなったという。

ところでこの大型記事のコンセプトが、最初の回の末尾に述べられているが、それは次のようにある。「中国軍が存在感を増し、周辺諸国や米国は警戒感を強めている。中国軍はどのような戦略に基づいて動いているのか。」

その実態を報告する」。確かに峯村記者の記事には、外では見られないような貴重な報告があることはある。その一例として、中共のハッカーと軍が結びついていることが紹介されている。中共の最大のハッカー組織「中国紅客連盟」は、昨年9月の尖閣事件のとき、日本の首相官邸や官庁への攻撃を呼びかけたが、連盟は軍との直接的関係を否定する。「だが、軍関係者によると、サイバー攻撃にかかわって捕まった17歳の少年が罪を許され、軍に採用されたケースもあった」。「軍関係者によると」とあるから、これも峯村記者の直接取材によるものだろう。

また峯村記者は、中共軍人の有する考え方に、よく目配りしているといえる。

例えばサイバー戦の回には、「軍情報工程大学長の王正徳・少将は2009年にまとめた『情報安全管理論』で、領土・領海・領空に加えてネット空間にできた『国境』を守ることを国家主権の核心とした」とある。

また宇宙戦略の回では、空軍工程大学の李学忠・少将が10年にまとめた「国家航空宇宙安全論」の、宇宙開発三段階計画を紹介し、「名指しはしていないが、米国への強い対抗意識がにじんで見える。

『覇権主義大国による宇宙での恫喝政策に対抗しなければならぬ』という表現もあった」とある。

ところで峯村記者は中共軍人の軍事思想を紹介するのだが、それに対する疑問や警戒感はいく見られない。彼らの身勝手な言い分を、ひたすら紹介するだけである。

サイバー戦の回では、自身に不振メールを送りつけられるサイバー攻撃を受けながら、サイバー攻撃の脅威にはまるで言及しない。ネット空間の国境を守ることが国家主権の核心なら、日本は中共から凄まじいサイバー攻撃を受けているのだから、我が国は国家主権を無茶苦茶に踏みじられていくわけである。また宇宙戦略の回には、中共は30年までには月に有人着陸して、最終的には月面基地の建設も構想しているところから、アメリカに対抗するというより、既にその先を行っている。

《次頁4段へ》

歴史捏造を直ちに止めよ。
韓国は、我が国に対する不当な請求権の要求を直ちに止めよ。

韓国は、「私的流用」した我が国からの協力資金を自国民への補償に充当せよ。

韓国は、日韓基本条約および『日韓請求権並びに経済協力協定』を遵守せよ。

【韓国大使館前で抗議する西村修平】



人権擁護法案制定に格好がある困った人々たち

運動には品格が肝要

谷川 佳祐 (神奈川県)

人権擁護法案は公明党が主導して、自民党と共に法案化を画策してきた究極的な言論統制であり、特にネット情報に対して強力な規制が敷かれる。小泉内閣時代に廃案となったが、今また民主党はこの自民党法案に修正を施し、次期国会に提出する予定でいる。修正とはいえ、「不当な差別や虐待で人権侵害を受けた被害者の救済を目的する」とした骨子は自民党法案とほぼ変わらない。加えて、放送法が昨年5月に改正された。新しい放送法は放送の定義を「公衆によって直接受信されることを目的とする電気通信の送信」に訂正・拡大している。

ネット上の言論発信を対象にしたのは言うまでもなく、動画配信並びに個人ブログに至るまで「放送法」の名の下に一括りされ、我々の言論の発信手段(ネット)に強力な規制を強いるものである。

我々政治的発言を発信するものは常に国家権力の監視下に四六時中おかれている。この現実を片時も忘れてはいけない。

じつは先日、仲間から「こんでもない動画を見たのでは非見て欲しい。」と連絡が入った。見てみると、ある若者のグループが、11月6日、朝鮮大学校前で街頭演説を行い、校舎に向かって「朝鮮人を殺すために来た」「殺してやるから出てこい」などとトラメガを用い大音量で発している。さらに、「冗談では言っていない」「次は、我々がお前たちの血を流す番だ」など……。

当日は学園祭だ。あえてこのグループはこの日を選んだのだろう。しかしながら学園祭は不特定多数の人らが見学に訪れる日であり、場所となる。言っていることには限度があるのではないか。「脅迫」「威力業務妨害」「名誉毀損」……真に犯罪のデパート。

さらに和服姿で通る婦人に対して、「朝鮮人が着物を着るな、着物を脱げよ!」「チマチヨコリを着ろよ!」などなど。じゃあ君は韓国へ行く時着物で行くのか。と、思わず口から出てしまう。あまりの幼稚な発言に人格を疑わざるを得ない。しかも日章旗を掲げ、なかには肩に担いで……。日章旗を粗末に扱って欲しくない。日章旗に対する冒瀆だ。というより一般の我々が同様にみなされ国旗を持てなくなる。

このグループにも、この映像を動画で発信するのだから彼らなりの言い分はあるのだろう。しかしそれは「独善的」の極みでどこから見ても私には鬱憤晴らしのただのチンピラ徒党集団にしか見えない。また、中にはかなりの壮年の人もいたという。「エエ年コイテ、ナニヤッテンダ」と言いたくもなる。

さて、前段でなぜこのような話をしたのか。このグループが相手にした朝鮮大学校は朝鮮総連と一体、朝鮮総連こそ組織的執念をかけて人権擁護法案の成立に邁進している。目的は我々が取り組む拉致問題、慰安婦強制連行の捏造などなど、これを規制するための言論弾圧をしたいからである。人権擁護法案の成立を望むのは何も民主党ばかりではなく、の

どころ手が出るほど早急に望んでいるのが朝鮮総連等なのだ。

「朝鮮人を殺すために来た」「殺してやるから出てこい」「冗談で言っていない。次は我々がお前たちの血を流す番だ。」今どきの暴力団でも使わないようなエキセントリックな言動は狂気以外の何物でもなく、正に「不当な差別や虐待で人権侵害を受けた被害者の救済を目的する」(人権擁護法案骨子)に該当するのではない。正に言論の虐待。「だから急いで人権擁護法案をつくらないといけないんでしょ。」辻元清美議員の金力ナキリ声が目に映りませんか。

今回の暴言で、人権擁護法案成立のための格好のネタを総連側へ提供してしまったのではないだろうか。

数年前、たしか「竹島の日」、韓国で日本の国鳥キジをそのまま食いちぎった御仁の写真が出たことがあります。また、彼らが日本の国旗を燃やすのは日常茶飯事。それを見て我々は「朝鮮人は野蛮な連中だ! 下品な連中だ! ヤダネ〜!」と揶揄した。今頃彼らは日本人に対し、同じことを言っているのではないだろうか。

今、一旦収まった外国人参政権付与法案の問題。これなど元々は日本側から「いかげんしょうか。」と朝鮮側に提供したもの。朝鮮人に対する諸々の優遇措置。これらは絶対あつてはならぬことです。しかし日本の行政が「ノー」と言えば済むこと。「お前らド厚かましい!」と朝鮮人を罵ってもかなり議論負けする部分もあるのではないしょうか。人権擁護法案成立に寄与することがあつてはならないことは言うまでもありませんが、日本人の品位、品格を貶める言動はそれ以上で慎んでいただきたいと思えます。

《↓前頁3段目末尾より》
そもそも「覇権主義大国による宇宙での恫喝政策」こそ、中共が一貫して追及しているものではないか。

要するに峯村記者のスタンスは、完全に中共側に立っているのである。

すなわち峯村記者の実態は、中共軍部のスポークスマンであるといつてよい。中共軍の異常で危険な膨張振りを、あたかも自然な動きであるかのように報道することによって、日本人を洗脳教育しているわけである。

もちろんこれは峯村記者個人の問題ではなく、私が「北京大本営報道」と呼ぶ朝日新聞の報道体質を、見事に実践しているものである。

一言コメント

奥中 正之(広島)

チャイナは核兵器を含み、空・海総合軍事力では未だアメリカには対抗出来ないが、サイバー戦争では対等で戦う体制を急遽整備中だとの軍事報告がある。

現在の兵器は全てコンピュータで運用され、軍事作戦もコンピュータによるシステムで実行される。

従ってサイバー空間でアメリカを抑えれば、勝てるとチャイナは読んでいるのではなからうか。そうなれば、戦端を開く前に勝敗がついていることにもなる。ということは、チャイナは絶大な対米軍事抑止力を手の中にする事となる。

日本はチャイナからサイバー攻撃で原子力発電所が機能を停止し、新幹線も止まるだけで、お手上げである。

チャイナの核兵器の脅威と共に、チャイナのサイバー戦力増強に対しても日本は危機意識皆無である。このことがより大きな問題だと考える。

今も昔も変わらない我民族の大和心

十一月六日「一日会」ミニ講演資料より
南口龍一(大阪府立高校教諭)

①「魏志倭人伝」 邪馬台国(弥生時代晩期)の頃の日本

西暦280〜290年に書かれたとされる「魏志倭人伝」に次のような記述がある。

「婦人淫(いんせす、妬忌とき)せず。盗竊(とうせつ)せず。誣訟(そそう)しよう(す)なし」(婦人の貞操観念は堅く、ねたんだりしない。盗みをする者はいない、訴え事も少ない)

②「隋書倭国伝」 飛鳥時代の頃の日本

西暦600年頃に成立したとされている「隋書倭国伝」には次のような一節がある。日本では聖徳太子が亡くなられた直後の時代にあたる。

「人すこぶる恬静(てんせい)にして、争訟(そう)まれに、盗賊(とうさく)すくなし。・・・性質直にして雅風(やふう)あり」(人は大変物静かで、争い事は少なく、盗賊も少ない。・・・人々の性質は素直で雅やかである)

③フランシスコ・ザビエル(スペイン)室町時代末期の日本

前野徹 「凜の国」より

「日本人はこれまで遭遇した国民の中で最も傑出している。名譽心が強烈で、彼らにとっては名譽がすべてだ。武士も平民も貧乏を屈辱とは思っていない。金銭より名譽を大切に、侮辱や嘲笑には黙って忍ぶということはない。日本人の生活には節度がある。多くの人たちが

読み書きができ、知的水準が極めて高い。学ぶことを好み、知的な好奇心に溢れている」

④ペリー提督(アメリカ) 江戸時代末期の日本

「正論」 平成16年12月臨時増刊号

「余が艦隊を率いて歴訪したアジアの国々の中で、この日本ほどよく組織化された国はない。異文化であるが、とても成熟している。彼らは非常に知的で好奇心が強い。もし彼らがわれわれの文明に国を開いて接するならば、驚くほど短期間に軍事的、経済的、産業的に強大な国家になるだろう」

⑤ネール首相(インド) 明治時代の日本

前野徹 「凜の国」より

「20世紀の初め、アジアの精神に大きな影響を及ぼした事件が起こった。それはロシアが、日本と戦って負けたことである。あのちっぽけな日本が、ヨーロッパのうちでも最大の、最強の国の一つであるロシアを敗ったということは、多くの人々をびっくりさせた。アジアにとって、これは嬉しい驚きであった。私は、今でも日本の勝利のニュースが伝えられるたびごとに、どんなに感激したかを、まざまざと覚えている」

⑥アインシュタイン博士(ドイツ) 大正時代の日本

谷垣泰三 「無窮」第13号より

「近代日本の発展ほど世界を驚かせたものはない。・・・世界の未来は進むだ

け進み、その間、幾度か戦いは繰り返され、最後には戦いに疲れる時が来る。その時、人類はまことの平和を求めて、世界的な盟主を挙げねばならない。その世界の盟主なるものは、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を抜き越えた、最も古く、また尊い家柄でなくてはならない。世界の文化はアジアに始まって、アジアに帰る。それはアジアの高峰、日本に立ち戻らねばならない。

⑦プラモート首相(タイ) 昭和の日本

現地新聞「サイヤム・ラット」紙より

「日本のおかげでアジア諸国はすべて独立できた。今日、東南アジア諸国民が米英と対等に話ができるのは誰のおかげだ。それは身を殺して仁をなした日本というお母さんがあったためだ。12月8日は、お母さんが、一身を賭して重大な決意をされた日だ。我々はこの日を永遠に忘れてはならない」

⑧孫文(中国) 前野徹 「凜の国」より

「彼らは建国以来、外国に併呑(へいこん)へいどんされたことがない。蒙古(もんこ)でさえ、彼らを征服することはできなかった。欧米の侵略に対抗し、科学の新しい方法を利用して国家を発展させ、維新(いしん)このかた50年で欧米各国と並び立つまでになった。アジア人とヨーロッパ人を比べるのに、われわれアジア人は白人に及び難きものと諦め、中国人だけでなくアジアの全ての民族が絶望していた。そこへ日本が忽然として興り、世界の一等国となったのを見て、アジアの民族に無限の希望が輝き始めた。

⑨呉善花(オ・ソンファ) 韓国

「韓国併合への道」より

「日本人といえば『過去を反省しよう』としない人たち」と教えられ、そう思い込み続けてきた。しかしそれはどうやら、韓国人のほうにあてはまる言葉だと知ったのは、日本に来てから数年ほどした頃である」

⑩金完燮(キム・ワンソプ) (韓国)

「親日派のための弁明」より

「韓国で生まれ育った私にはかつて強い反日感情がありました。・・・その後、私の対日観は大きく変化していきま

⑪平泉 澄(きよ) 東京帝國大學國史學科教授 「少年日本史」より

「皆さんは日本人だ。皆さんを生んだものは、日本の歴史だ。その顔、その心、その言葉、それはみな幾百年からの先祖より受け継いだものだ。それを正しく受け継いだ者が、正しい日本人だ。従って、正しい日本人となる為には日本歴史の真実を知り、之を受け継がねばならぬ。戦敗れた後の我が国は、占領軍の干渉の為に、正しい歴史を教える事が許されなかった。歴史の学問は、占領下に大きく曲げられたままに、今日に至っている。皆さんよ、人の貴いのは、それが誠実であるからだ。誠実は一切の徳の根本だ。その誠実を守る為には、非常な勇気が必要とするのだ。今後の日本を担うべき皆さん、皆さんは、何よりも先ず誠実でなければならぬ。日本の歴史は、さような誠実と勇気の結晶だ。」

祖父 野口重男の戦い！ 日本再建会議・東京 原田君明

我が祖父 野口重男の陸軍経理学校予科と本科の時の訓練の写真です。

本科に入って直ぐに開戦となっておりますので、平時より猛烈な訓練を受けていたと聞き及びます。

そして本科卒業後 祖父は樺太は上敷香の第88師団歩兵125連隊 連隊本部に派遣された模様で、そこでソ連と交戦しました。そこでの祖父の奮闘が無ければ今の北海道はありません。最終階級は陸軍主計大尉です。

私は、祖父 野口重男を誇りに思います。原田君明(茨城)

軽印刷のため、写真の不鮮明をお許しください。編集長



重機関銃



銃剣突撃



匍匐前進



物理実験



予科剣道



機関銃分解整備

外国人参政権廃案

それがどうした

外国人の「通称名」記載

これだけ外国人献金問題が続いている中、「元凶ともいえる外国人の「通称名」が、新しい住民基本台帳法で公に認められようとしている。なぜかマスコミも大きく取り上げないのか。

左記要領で総務省がパブリックコメントを求めている。ということはその方向で走り始めている証左だ。

意見提出の期限は12月18日まで。

■地方自治「住民基本台帳法施行令の一部を改正する政令の一部を「改正する政令案」及び「住民基本台帳法施行規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令案」に対する意見の募集について

連絡先
所管府省・部局名等(問合せ先)
﻿
﻿

総務省自治行政局外国人住民基本台帳室
担当: 竹内課長補佐、吉本係長、小野
〒100-8926
東京都千代田区霞が関2-1-2

電話: 03-5253-5111(代表)
FAX: 03-5253-5520
E-mail: saikokujin-juki@soumu.
go.jp

貝塚 正恵(東京)

国籍選択制度廃止と重国籍容認

「PP 論議の裏でとてもない請願が衆議院、参議院双方に出されました!

それは「重国籍を容認する請願」と「国籍選択制度廃止」の請願です。

この二つの法律はどういう法律なのか。かいつまんで説明しますと、現在では、例えば在日は韓国籍か日本に帰化して日本席を取得するかいすれかを選択しなければなりません。ところが、韓国籍の在日にも日本籍を与えちゃえ。という無茶苦茶な法律なのです。そうすると、外国人参政権が無くても外国人に参政権が与えられる結果になってしまいます。外国人にも日本籍を与えるわけですから。中国籍と日本籍とか韓国籍と日本籍とか両方持っている、すなわち重国籍日本人が誕生するのです。

そういった方々が選挙に立候補も可能。選挙運動も合法。政治献金も合法。こうなるとどうなるでしょうか?外国人参政権で懸念されている事が全て合法となってしまうのです。

例えば、対馬。韓国籍の日本人が対馬に大量にやってきて、対馬市長選挙に韓国籍の日本人を当選させる。さらに、対馬市議会を韓国籍の日本人で過半数を抑えれば「対馬は韓国領である。」という決議を取る事さえ可能になるのです。

沖縄県石垣市でも同様に中国領になってしまいかねません。

さらに、中国、韓国、北朝鮮に対して従属する法案や条約を結ばせる様に陳情

をしても法律違反にはなりません。面白いニュースを見つけたので、紹介します。

●鳩山氏ら外国人参政権早期成立を「約束」 民団記念式典 2011.11.18
<http://saikoku.jp/news/politics/news/11118/stt111181930008-r1.htm>

在日本大韓民国民団(民団)の創団65周年記念式典が18日、都内のホテルで開かれ、民主党の鳩山由紀夫元首相や公明党の山口那津男代表、社民党の福島瑞穂党首らが相次いで永住外国人への地方参政権(選挙権)付与法案の早期成立を訴え、支持を求めた。

鳩山氏は「永住外国人、特に韓国の皆さま方が『地方参政権を早く認めるように』というのは当たり前の願いだ」と指摘した。その上で「時間がかかっている申し訳ないが、政治の立場から応えていかなければならない。民主党も最大の努力を約束する」と述べた。

さらに、同席していた樽床伸二幹事長代行の顔を見ながら「できる限り来年の通常国会でがんばりましょう」と呼びかけた。

その後にあいさつした樽床氏は「鳩山氏の思いをしっかりと支えながら、国政運営にあたっていく」と述べた。

山口氏は「民主党を挙げて合意を固め、国会へ(法案を)提出していただくならば、喜んで成立に力を貸す」と宣言し福島氏も「民主、公明、社民各党が協力すれば国会で法案は通る。必ず成立させる」と意欲を示した。

式典には、民主党の江田五月元参院議長や赤松広隆元農水相、公明党から草川昭三、魚住裕一郎両参院議員らも出席した。自民党の挨拶はなかった。

新嘗祭

実は昨日、友人の訪問を受け、拙宅で夕食会。茶碗蒸しも作った。茶碗蒸しと言えば銀杏。ちょうど1年前、靖国神社で拾ってきたものだ。

靖国神社の銀杏はつづが大きい。拝殿に向かって左奥に落ちているのが特に大きい。御堂筋(大阪)の銀杏の倍はある。ところが、残念なことに1年前の銀杏、固くなって食べられなくなってしまった。かと言って靖国神社で拾った銀杏、捨てるわけにもいかない。庭に穴を掘って埋めた。これなら許してもらえらう。

ところで、昨日は11月25日、新嘗祭の日だった。新嘗祭は宮中祭祀のひとつ。収穫祭にあたるもので、天皇が五穀の新穀を天神地祇(てんじんちぎ)に進め、また、自らもこれを食して、その年の収穫に感謝する。

さて、提案がひとつ。「新嘗祭」の週は「(食べ物の)好き嫌いを言わない日」にしたらどうだろうか。一番現実的的是得てると思うが.....

我々ができる新嘗祭の一番簡単な祝い方。それは好き嫌いを言わず、出されたものを全て美味しくいただくこと。それが収穫に対する「感謝」の基本ではないだろうか。

昨夜、夕食会の席上、参加した右翼少年が新嘗祭の講釈をたれ田。ところがネギは食べない。こんにやくも嫌。あれは好物、あれは嫌いなどと言ったので「バカモノ! お前に『新嘗祭』を語る資格はない。」と怒鳴ってやめた。

最近の学校給食では好き嫌い〇×。せめて新嘗祭の前後くらいは、好き嫌いをやめようではないか。

各位からのご意見

花柳病の積極的予防法

史実を世界に発信する会 茂木弘道

世界各国の外征軍は兵士の性処理対策を、それぞれの国内の売春関連法に基づいて行っていた。日本は公娼が認められていたので、慰安所がその戦地での営業として行われた。アメリカは売春が合法でないで、現地調達方式をとった。ベトナムでは、米軍は現地の売春宿をキャンプの中で営業させ、その管理は旅団長責任で行っていたことが、スーザン・ブラウンミラーの『Against Our Will: Men, Women and Rape』というベストセラー本に書かれている。(p. 95)

日本軍は兵士の性病対策に真剣に取り組む、世界各国の民間、軍の売春、性病管理のデータを集めてこれになったことを証明する文献が、今回紹介する軍医少尉麻生徹男氏の提言論文『花柳病の積極的予防法』である。

これは前回紹介した麻生博士お嬢さんのまとめられた『慰安婦医療の係わりについて』(梓書院)の第11章として収められているものである。これを読むと、日本軍は世界で最も良心的にこの問題に取り組んでいたことをうかがい知ることが出来る。そもそも慰安婦強制連行などという事は、法的にも社会状況からもありえないことであるが、実際日本軍の慰安婦管理自体がきわめてまじめに行われていた。非難されるいわれは全くないのである。

文玉珠という元慰安婦は軍事貯金の払い戻しを求めて訴訟をしたが、貯金原簿が見つかり、

《下段中央へ》

TPPの行方に懸念

純日本人会 栗原茂雄

TPP については韓国でもアメリカでも反対論があるように伝わっています。当然だろうと思います。日本は既に関税は殆どなくなっていますから、失うものが少ないはず。心配されているのは農業とか保険でしょうか。

農業ですが、単に経済の観点からの商品と捉えるべきでなく、国土保全と食糧安保の観点から考える必要があります。そもそも食料メジャーは日本の食糧確保を保証しません。

もし食料危機が来た場合、日本政府はTPP 加盟国に保証を求める事が出来るのかどうか問題です。それも単に量だけでなく、質と価格も加盟国が同質で有り得るのか否か?その場合の担保は?又、水田は保水の観点からも維持すべきで、その為の補助金が国土交通省から出ても当然かと思えます。森林資源も国土保全の観点から重要で、現時点でも森林を公共財と

《下段 頭へ》

《↑上段末尾より》 なんと2万の千四百45円の残高があることが判明した。2年半で預金がこれだけ預金したのだから少なくとも月千円は稼いでいたことになる。これは軍曹の給料30円の30倍以上である。これを「セックス・スレイブ」と呼び、アメリカ議会会で非難決議を出したのだ。

これは「国際的な一大詐欺事件」と呼ぶべき犯罪行為といわなければならぬ。

《↑上段中央より》

考えて資金を投入すべきだと考えます。韓国には放送についての対日全面解放を求めるべきです。当然日本の文化に対する反日言動は非課税障壁として撤廃を求めるべきです。そうでなければ、TPPは不正な枠組みとなります。

朝鮮カルトが浸透する日本の政界は対応できるか否かが注目です。「朝鮮人」から力ネを貰っている政治家はたくさんいるように聞いていますが、日韓友好を訴えてウヤムヤにするような気がします。カルト教団から差し出された信者を秘書として雇うと月額20万円振り込まれ、車が一台付く。実際の給料は勿論税金無税の宗教団体が出す。5人雇えば100万円に車5台となるのでしょうか。もし本当なら韓国には人種差別をされて何をやらせても何も言わない日本政府そのままのような気がします。

TPP についてはその辺の議論を本音でしない限り、損失が大きくなることでしよう。

日本の農業は量と価格では外国に対抗できません。味と安全性の質で対抗するしかないと思いますが、幸い、日本のあらゆる文化が世界中で人気を集めています。食文化もその例に漏れません。

そこで提案ですが、日本政府が音頭取りをして世界中で日本料理の祭典を催すと言っているのでしょうか? 当然食材は日本から持つてゆきます。そこで日本の農産物の良さを訴える事が出来ると思います。

その場合、注意すべきは韓国人です。彼等は日本に利用するときだけは友好を口にして擦り寄り、韓国ものを日本人の手に織り交ぜます。そして単品で認められるものがあるとそれを反日宣伝に利用します。K-POPが典型です。

経済界だけでなく政界やマスコミにも朝鮮マナーが蔓延しているので要注意です。

もうひとつ、TPPとは無関係かと思いますが、日本には翻訳文化があります。日本語を物にすると古今東西の書籍が読めるということで日本語を学ぶ人がいると言われていました。

最近は何なのでしょう、か、そういう話を聞かなくなりました。TPPとは直接には関係がなくても国家戦略の上で世界中の外国文化が日本語で網羅されているということは非常に重要な要素だと思います。

ところで政界が動き始めました。新党構想のキーワードは反増税。私もその主張は大賛成です。ともかく、今増税なんて口にはしていないことがはつきりしています。

ところが、自民党谷垣総裁も野田総理も増税志向。

亀井静香氏は反米、平沼氏も反米、石原氏も反米。しかし彼らの反米は対米自立派といった方が良いと思います。小沢氏は反米、媚中で彼らとは合つわけがないのですが、政治は数合わせですから、連立でくっつくこともあるかもしれないと思っています。

問題は「朝鮮」へのスタンス。彼らには朝鮮カルトの噂が絶えませんから、嘘か真か?日本国内の朝鮮勢力へはどの程度対峙できるのか見ものです。

自民党も安倍晋三、麻生太郎などの噂が有名です。朝鮮カルト宗教、フリージャーナリスト、暴力団などが彼らの勢力下と言われています。

その構図への徹底説明がなされなければ、日本人差別問題は解決するわけがありません。

《次頁4段目へ》

議員の給与、高いのか？
菊池—広瀬—増木—島田—K議員

【東京の菊池氏から、「議員の給与が高い」とご意見をいただいた。」】

蓮方行政刷新担当大臣殿

行政仕分けが終了しました。私が、以前の事業仕分けでもお尋ねしましたが、国会議員の歳費削減の話は、一度も出なかったようです。お年寄りの年金給付が、若い世代の将来の受け取り額と格差があるので、給付額を削減するというなら、国会議員の年間歳費は、国民の年収と大きく格差があります。なぜ、国会議員の年間歳費を削減する話が一度も出なかったのでしょうか。

以下は前回の事業仕分けの時に送付いたしました「質問状」です。再度お送りいたします。今度こそお答えいただけますね。 平成23年11月23日

『蓮方さま』

いよいよ第二次事業仕分けがはじまりますね。

前々からお尋ねいたしておりますが、国会議員の年間歳費三千万円、文書費毎月百万円、各種交通無料パスは、一般庶民からするとあまりに高額だと思いますが、いかがでしょうか。議員の歳費はなぜ三千万円なのですか、三百万円ではないのですか。また、毎月の文書費百万円で住宅ローンを組み、高級マンションを取得する先生方も数多いと漏れ聞いております。

また、国会議員の定数削減も是非、事業仕分けをして欲しいと思っております。国会議員の定数削減の事業仕分けは、いつ頃始まるのでしょうか。4月23日

【それに対し、同じく東京の広瀬様から次のようにご意見を頂きました】

>国会議員の年間歳費は、国民の年収と大きく格差

国会議員の歳費明細を見た事がありますが、手取りは実質30万円でしたよ。何々部会費とか、たくさん差し引かれてました。無駄な部会もあるでしょうから、その辺はさじ加減一つですが。

はつきりしている事は、一般の日本国民以下の手取り。

国の舵取りをして頂く議員の給与は、月額100万円でも安いと思います。活動レベルが違うから、国民の年収と大きく格差があつて当然でしょう。勿論、馬鹿議員には勿体ないですが。

【私(増木)も意見を言わせて下さい】

さて、結論だけ申し上げると、議員の歳費は国会、地方問わず安すぎると思えます。歳費はあくまでも経費込み。特に地方議員の歳費は安く、一般市議で800万〜1000万程度。秘書や事務員も雇えない。私もいろいろな議員のお手伝いをする。「報酬を頂戴」と言いたいが、歳費明細を見ているから言うに言えない。結局ボランティア。ボランティアでいい仕事が出る訳がない。結局中途半端。議員に申し訳ないとは思うけどこれが現実です。

参議院の山谷さんや、佐藤隊長に大阪に何回も来ていただいている。彼らは資料の入った重い荷物を持って秘書なしでやってくる。一事が万事だがせて地方出張に秘書が同行できる程度の十分な歳費は払うべきだと思います。

(一般論として)「歳費削減！」などと言

って人気や票を集めるのはやめろ。議員の仕事内容も十分に知らず、数値だけで高い安い言うのはやめよ。報酬の額は仕事の質とのバランスが寛容ではないでしょうか。廣瀬氏が言うように、なかにはこんでもない議員もいます。芸人としては超一流の西川きよし。彼は参議員3期、18年。何をした。眞面に山ほど老人ホームをつくっただけ。そしていくらか持っていた。全部ひっくり返して年間1億としても10億ですよ。芸人が悪いわけではない。もと吉本(?)の船場太郎大阪市議。大阪では有名な「よく働く議員」。なのです。

議員の定員削減は当然だと思います。本に質のいい議員だけを残し、報酬は十分支払う。

現状では、例えば不動産等の他の収入がないと、歳費だけでは十分な議員活動はできないと思います。これは決して議員への「マヌリ」ではありません。議員活動の裏側を見てしまった者からの報告です。

【実はこの意見を、東京の島田氏が、K衆議院議員に送りました。その返事】

メール有難うございました。国会議員の給与についてのご意見を頂戴し、御礼申し上げます。ご意見のこと、胸に刻んで努力して参ります。衆議院議員 ス

【そこで島田さんに、次の文章を一度K議員に送ってくれと頼みました。どうなったことやら】

国会議員が己の給与を下げる。それは禁じ手。日本が終焉を迎える予兆。自分の給与を下げる以外にもっと他に手はないのか。金正日に聞いてこい。彼だったら、い

《下段中央へ》

《↓前頁末尾より》

外為特会で韓国を救済しようというのが現政権だけでなく、与党にも野党にも蔓延しているように見えます。少なくとも、追求した佐藤ゆかり議員は違つて見えてよいと思います。

そういえば、片山さつき議員も仮設住宅問題で菅政権を追求していました。TPPを考える場合、そういうことも考慮しないと簡単には賛成とか反対とか即断できないと思います。

それにしても自民党はチャンスなのに、谷垣氏は小泉の尾を引きずっているのでしょうか。小泉政権に尻尾を振って付いて行った人議員が自民党の主流にいる限り、自民党の支持回復は緩やかな歩みなるのではないのでしょうか。

《↑上段末尾より》

くら国民が餓死しても「自分の食事を質素にする。」などとは絶対に言わない。自分が立てて、自分があつて政治ではないか。景気回復の知恵が出ないのなら、歳費の減額などという中途半端ではなく、即刻議員をやめるべきではないか。議員歳費を下げることを景気回復の政策が打てないことの免罪符にするな。国民は騙されてはいけない。議員歳費を下げることは政策ミスをごまかす以外のなにものでもないのだ。最も能のない政策だと思つた。

議員の仕事って、「景気が回復しません。申し訳ないので減給します。」そんな安易なものなのか。

私はこのように思います。

質のいい議員と付き合ってください。そうすれば、いかに安いかがおわかりになると思います。

増木

三島由紀夫先生慰霊碑の草むしり 玉の緒地蔵境内 (加古川市志方町)

1月25日の三島由紀夫先生の命日を前に、19日、むすびの集い (村上学代表) 主催する、三島由紀夫先生慰霊碑の周りの大掃除 (草むしり) に参加させていただいた。あいにくの荒天。ところが雨の方が草むしりには最適。簡単に抜ける。ひとつ利口になった。

三島先生の慰霊碑は各所にある。今回我々が草むしりをしたのは、先生の本籍地、兵庫県加古川市志方町の玉の緒地蔵境内にある碑の周り。大阪から六甲の裏を走る阪神高速で約1時間。加古川バイパスから15分程度の山の中。山陽自動車道からも近い。玉の緒神社は子授けの地蔵として有名。



全員で記念撮影 ↑

↓ 国士舘大学の松田君と草むしり



日本の原風景の中で、ひとときの心の休息を楽しんだ。

編集後記

明日は大阪府知事、市長の投票日。どういう結果が出るか。「選挙に行かない奴は政治を語るな。」《下段へ》

《上段より》 志方町は、三島由紀夫の本籍地として有名です。小説「仮面の告白」で主人公の「私」が徴兵検査と入隊の時に訪れたH県が三島由紀夫の本籍地である当時の兵庫県印南郡志方村で、三島由紀夫は祖父・平岡定太郎の生まれ育った本籍地を二度訪れたことになるようです。

高砂市の松本ひさし議員、東京から国士舘大学の松田君も参加草むしり終了後、先生の碑に黙祷。そしてみなでお供えのお下がり、雨の中ささやかな宴会？

これが私の持論です。選挙を棄権……棄権じゃないな。サボってデモや集会、街宣に参加し、「中国は……韓国は……」政治的主張をするのは本末転倒だと思っています。

今回の大阪の選挙は大変難しい選択です。どっちを選んでも一長一短ある。(冗談ですが)「もう、頼みの綱は羽柴秀吉しかないな。」などと言っていたら、今の本人は病気で不出馬。できるものなら逃げたい。特に私の場合、自分の思いは思いとして、右をむいても左を見

活動資金ご協力をお願い

【ご支援等の口座】
郵便振替 006808245647 MASUKI 情報デスク
三菱東京マシナリー 三井住友銀行 004346 普通 増本重夫

ても義理と人情のカッチンカッチン。それでも投票に行かないといけないと思います。「誰に入れても何も変わらない。」確かに誰に入れても今日と明日は何も変わらないと思います。しかし2年後、3年後には大きく変わる。それは「一度やらしてみよう。」という有権者の無責任な判断の結果、日本がどうなったかを考えればわかると思います。選挙はすべてを決めます。美人か否か (昔あったマドンナ旋風) までも選挙で決まるのが民主主義です。良い悪いは別にして。

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は下記団体の活動の企画運営費です。

- ・ 活動の資料等の発送費・道路、公園

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は、現在のごく3ヶ月月始めに全国約2000 (目標5000) 部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらご希望の表記事務所までお送りください。

- M情報が活動の企画運営を行っている主な団体
 - ・ 救う会大阪
 - ・ NO! 民主「桜組」
 - ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
 - ・ 米国に原爆投下謝罪を求める会
 - ・ 大阪の公教育を考える会
 - ・ スパイ防止法の制定を求める会
 - ・ 外国人参政権に反対する会・関西
 - ・ 日教組の違法行為を追及する市民の会
 - ・ 竹島を奪還する会・関西
 - ・ 改憲祈念の会
- ◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。